

オープンソースの「今」を伝える

Open Source Conference

コミュニティ・協賛企業・後援団体によるオープンソースの祭典!

Open Source Conference 2025 Osaka

# OSSデータベースを組み込んだ

## プロダクトの事例

### ～ なぜそれを選んだ？

[https://osscons.jp/jonn94kik-723/#\\_723](https://osscons.jp/jonn94kik-723/#_723)



OSS

Consortium

このセッションでは、

- ▶ ソフトウェア製品(主にビジネスアプリ)でDBMSを組み込んでいる事例を紹介いただきながら、
- ▶ ソフトウェアの実現にDBMSなどのOSSを部品として活用することについて考えます。

なお、技術的な観点よりも、ライセンスやOSSの普及など非技術面の方が多めになるでしょう。



**OSS**  
Consortium



内田 太志  
株式会社インプリム



Pleasanter  
Business Application Partner



野原 直一  
株式会社ウェブチップス



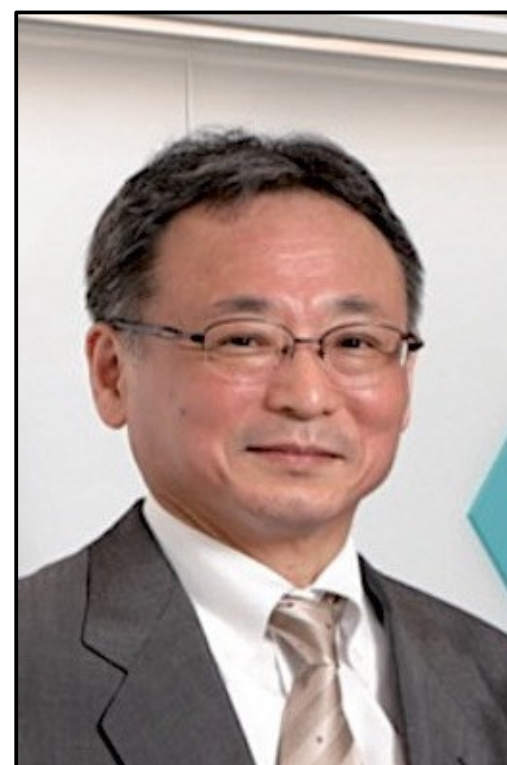
SHIRASAGI



梶山 隆輔  
Oracle Corporation  
MySQL GBU






MySQL™



溝口 則行  
TIS株式会社

## 今回の進行(目論見)

- 本日のアウトライン説明+登壇者紹介
- OSSコンソーシアムの紹介
- メインパート前半: OSS DBMSを組み込んでいるアプリの例
  - 内田さんから 
  - 野原さんから   
 SHIRASAGI
- メインパート後半: パネルディスカッション
  - 質問① = 製品のコンポーネントにしやすいDBMSの特徴は?
  - 質問② = 既存のOSSを積極的に部品として使うべきか?
- クロージング



OSS

Consortium

をちょっとだけ紹介!

# OSSコンソーシアムはこんな団体です



## ●【目的】

- 会員企業（ユーザ）のOSS採用促進
- 会員企業（ベンダー）のOSSビジネスの推進
- OSS市場の活性化貢献

## ●【基本ポリシー】

- ビジネスとしてのOSSをメインテーマとして、OSS市場活性化に向けた問題点の解決や利点の発展を活動主眼とする。
- 前項実現のためには、会員間での協力による効率的なアウトプットを行うことを心がける。
- ユーザが参画できるようなコンソーシアム環境の整備及び活動の実現を目指す

わかりやすく話すと…



- **OSSの価値観を大事にしている企業メンバが集まったビジネスコンソーシアムです。**
  - 仕事に役立てられる活動をしたいと思っているメンバが中心ですが、会員各位の参加の動機はとても様々だと思えます。
- **テーマを共有できるメンバと一緒に部会活動をするのが、最大の売り物です。**
  - 会員同士の取引関係はあったりなかったりいろいろですが、そこは重要ではありません。
- **他社と集まれることにメリットと喜びを感じているメンバが多いので、懇親会は公式・非公式によくあります。**

# 参加するとできること

## ● 部会活動

- 参加部会数や参加人数に制限はありません。
- 部会やイベントによってはゲスト参加も可能です。

## ● 他社との交流の場

- 部会, 委員会, 懇親会, イベント出展, などなど

## ● Webサイトやメルマガを使った自社活動の告知やアピール

- OSSに関連している必要があります。

## ● 部会活動や出展イベントの場で会員企業の製品・サービスをテーマにすることも可

- 正会員として部会活動の主要メンバになっていただく必要があります。



# 部会・支部構成など

## 会長挨拶



OSSTech(株) 代表取締役 小田切 耕司  
私たちOSSコンソーシアムは、社会貢献活動からビジネス創造までを活動の軸にしている組織です。昨今IoTやAI、自動運転などのテクノロジーにはOSSが当たり前のように使われています。そのような時代の中で多種多様な部会活動を通して、具体的に成果を残し発信することでOSSの発展を支援しています。OSSには変化の激しい時代を生き抜く力があると信じています。エンドユーザー、公共機関、学生、ソフトウェアベンダの力を合わせることで、更なるOSSの発展に尽力していく所存です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## AI IoT Robotics Automotive部会



ユニテックシステム(株)  
法務部 部長 宇田川 勝一

～IoT/組込み/人工知能分野におけるOSSの普及・利用の促進を行う～

IoT/組込み分野、ロボット/自動運転とそれのための人工知能(AI)分野などで使用されるOSSの情報収集、議論、情報共有を行います。また、当該分野におけるOSSの普及・利用の促進に向けた活動を行います。

## Open EDA部会



株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジ  
ジ  
滝澤 正大

～LSI開発者の裾野を広げる～

オープンソースEDAによるLSI開発手法や、オープンスタンダードなISAであるRISC-Vや低消費電力デバイス技術などの周辺技術を調査して、活用方法の模索と情報共有を行います。すでに当該技術に興味を持っているひとだけでなく、若者にも興味を持ってもらうために初心者向けの情報発信の実施やセミナー等を開催します。

## オープンCOBOLソリューション部会



東京システムハウス(株) 比毛 寛之

～基幹システムへのopensource COBOLの普及促進を図る～

プロプライエタリな環境が一般的なCOBOLの開発においてもオープンソースのメリットを活かすため、OSS COBOLを技術・ビジネスの両面からサポートできるように整備していき、基幹システムにおけるOSS化の普及・促進を図ります。

## 開発基盤部会



西野 大介

～企業のITインフラのポートフォリオの拡充～

issueを解決するために使用する各種オープンな要素技術やプラットフォームを、幅広い開発技術を用いてパッケージ(統合)する。また、その際の効率向上も行う。そして、これら技術的アウトプットを継続的に公開する。

## データベース部会



TIS株式会社 IT基盤技術推進部 主  
査 溝口 則行



株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー  
代表取締役 鶴川 徹

～データベース領域でのオープンソースの更なる発展促進を図る～

特定のプロダクトにとらわれず、第三者的な立場で様々なデータベースの情報を収集し、それらをユーザ・ベンダにフィードバックする機会を提供します。また、データベースの垣根を越えたイベントなどを開催します。

## 東海支部



(株)パドラック 代表取締役 杉本  
等

～東海地方のOSSのビジネス利用促進を図る～

東海地方において、OSSの利用促進とともに、ビジネス拡大を図ります。調査、勉強会およびセミナーを通じ、OSSを広く知ってもらい、導入利用のサポートおよび開発など、この地域のOSSビジネスの受け皿となるように活動していきます。

## ビジネスアプリケーション部会



株式会社ウェブチップス  
代表取締役 野原 直一

～オープンソースビジネスアプリケーションの普及促進を行う～

ビジネスアプリケーションレイヤーにまで浸透してきているOSSですがユーザーに対するメリットの説明不足や、信頼性に関する誤解が多々見受けられます。それらの誤解を払拭すべく、積極的に啓蒙活動を行います。

## 分散コンピューティング部会



(株)日立ソリューションズ 技術革新本部  
生産技術部 AI Center of Excellence  
主任技師 才所 秀明



(株)ノーチラス・テクノロジーズ  
代表取締役社長 目黒  
雄一

～オープンソースの分散コンピューティング技術の普及促進～

オープンソースの分散コンピューティング技術は、ニアリアルタイムのストリーム処理も可能な技術に発展し、IoTやAIなどの基盤技術となっています。本部会では、分散コンピューティングの分散処理技術に焦点をあて、情報収集・情報交換及び公開を行い、導入活用に向けた普及促進を行います。





OSSコンソーシアム事例紹介ページ



<https://case.osscons.jp/>

事例紹介を募集中!

成功事例紹介



株式会社ノーチラス・テクノロジーズ  
次世代高速オープンソースRDB  
Tsurugi



株式会社ウェブチップス  
シラサギCMSの紹介



OSSTech株式会社  
オープンソースによる認証基盤導  
入事例

ここからテーマに沿った  
内容に入ります

# 内田 太志 さん (株式会社インプリム)



## Pleasant

Business Application Platform

# 野原 直一 さん (株式会社ウェブチップス)



**SHIRASAGI**

# ちょっとだけパネルディスカッション

# 製品のコンポーネントとして組み込みやすいDBMSの特徴って？

- 2つのケースを紹介いただいたが、もうちょっと一般的に・・・
- 製品のコンポーネントにするDBMSに適した特徴は？
- ライセンス？, 普及の程度？, 技術者の数？, 自力サポート可否？, 機能？, etc...

# 既存のOSSを積極的に部品として使うべきか？

- DBMS以外でも、ビジネスアプリを開発する際に既存のOSSを積極活用した方が良い？
- 逆に、なるべくスクラッチ開発を目指した方が良い？
- 0か100かじゃないと思うが、その条件も含めて。

# 参考ネタ 有益なOSSの存在に気付いてもらう

OSS鳥瞰図 2023年 (2023/12/28)

## OSS鳥瞰図 by 日本OSS推進フォーラム

The image displays a comprehensive grid of 20 small tables, each representing a different category of Open Source Software (OSS). The categories include:

- Webサーバ (Web Servers)
- データベース (Databases)
- 開発ツール (Development Tools)
- クラウド (Cloud)
- セキュリティ (Security)
- ネットワーク (Network)
- モバイル (Mobile)
- その他 (Others)

Each table lists various OSS projects with their names and links. For example, in the 'Webサーバ' category, projects listed include Apache, Nginx, and Lighttpd. In the 'データベース' category, projects like MySQL, PostgreSQL, and Redis are listed.



# OSS鳥瞰図



<https://ossforum.jp/index.php/choukanzu-wg/>

(または <https://ossforum.jp/>)

→ 活動内容 → 技術部会 → 鳥瞰図ワーキンググループ)



運良く時間があれば

➔ 意見 ?

➔ 質問 ?

- OSSコンソーシアムをよろしくお願ひします  
新規会員募集中です
- OSC Tokyo/Spring (2/21-22) でもセミナーを実施します。  
今日のテーマと軽くつながります。  
「OSSがビルディングブロックになってデジタル変革は進む(はず)」  
[Part 1~3]  
<https://event.ospn.jp/osc2025-spring/>
- 本日この後, 他のOSS推進団体のセッションもよろしく!
  - 14:00~「OSS鳥瞰図と活動のご紹介」  
日本OSS推進フォーラム 鳥瞰図WG
  - 15:00~「OSSの悩みが尽きないのはなぜ？」  
オープンソースソフトウェア協会

# ご参加ありがとうございました

パネリスト一同



# OSS

# Consortium

本資料はLibreOfficeで  
作成しています。